おかしおかし、カキのたねを ひろった サルが、おいしそうな おにぎりを もった カニに バッタリと であいました。

サルは カニの おにぎりが ほしくなり、カニに ずるいことを いいました。

「このカキの たねを まけば、まいとし おいしい カキのみが なるよ。とうだい、おにぎりと こうかんこと あげようか？」

「うん、ありがとう」

カニは おおよろこびで いえに かえり、さっそく たねを まきました。

そして、せっせと 水を やりながら、

♪ 早く めを 出せ、カキの たね

♪ 早く めを 出せ、カキの たね

♪ 出さねば はさみで、ほじくるぞ

するとどうでしょう。

さっき まいた たねから めが出てきて、くんくん 大きくなりました。

♪ 早く みが なれ、カキの 木よ

♪ 早く みが なれ、カキの 木よ

♪ ならねば はさみで、ちょんぎるぞ

こんどは カキの 木に、たくさんの カキが みのりました。

ところが、カニは 木のぼりが できません。

「どうしよう？」

こまっていると、さっきの サルが やってきました。

「あらら、もう カキが みのったのか。よしよし、おいらが かわりに とってやろう」

サルは スルスルと 木に のぼると、じぶんだけ 赤いカキの みを たべはじめました。

「ずるいよ サルさん、わたしにも カキを 下さい」

「うるさい、これでも くらえー」

サルは カニに まだ 青くて かたい カキの みを ぶつけました。

「いたい、いたい、サルさん ずるい」

カニは 大けがをして、いえに かえりました。

そして、みまいにきた ともだちの うすと ハチと クリに そのことを はなしました。

はなしを きいた みんなは、カンカンに おこりました。

366日の昔話 にち むかしばなし
福娘童話集 ふくむすめどうわしゅう

サルカニがっせん

福娘童話集 きょうの日本昔話ばなし

かきおろし

福娘童話集 豆本シリーズ 8

福娘の携帯向けサイト

・福娘童話集
（世界と日本の昔話）
・366日への旅
（誕生日・誕生花・誕生石）
・ことわざ辞典相談所
（ことわざ解説検索・対話式）
・世界60秒めぐり
（世界の国々の空気感）

QRコード

http://hukumusume.com

・もちぶたこう
・ブくやひめ
・ガチョウ
・花咲じいさん
・金太郎
・浦島太郎
・かさじぞう
・ウサギとカメ
・スズメのおやど
・ツバメとカレーライス
・いろがみつる
・ウリバタケこうたん
・ももんがちゃん
・ジャングルのトオル
・おおかみちゃん
・ネコとネズミ
・ハクのおおかみ
・ハナコのこイヌ
・にんぎょひめ
・花のあじいさん
・はだかの王さま
・ハクのおおかみ
・ヘンゼルとグレーテル
・アリバいくの冒険
・鮭の太陽
・北風と太陽

「ああ、いたい、いたい」

サルは カニの はさみで ちょんぎられた しっぽを おさえながら、にげていきました。

「ピーヒョロロ」

トンビが、いたずらっこの サルを みつけて、ゆうゆうと 空を まわっています。

「こりゃ、こりゃ、サルどの、おやめなされ。木の上から 落ちたら、ケガでは すみませんぞ」

「ピーヒョロロ」

「ピーヒョロロ」

トンビの ことばも 聞かずに、サルは 木の上から 石を 落としました。

「ピーヒョロロ」

「ピーヒョロロ」

トンビは、こりゃ たまらんと、大きな 羽を ひろげて、空の 高くに 逃げました。

「ああ、こわかった。おやめなされと いったのに」

「ピーヒョロロ」

「ピーヒョロロ」

トンビは、サルの 大きな おしりを、ツンツンと つつきました。